

議事日程(第3号)

平成25年3月11日 午後1時00分開議

日程第1 発議第1号 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉への参加に反対する意見書

本日の会議に付した事件

日程第1 発議第1号 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉への参加に反対する意見書

出席議員(15名)

1番 水町 茂君	2番 徳久 信義君
3番 岩崎 信や君	5番 緒方 直樹君
6番 池田 堯君	7番 中村 末子君
8番 黒木 正建君	10番 後藤 隆夫君
11番 青木 善明君	13番 永友 良和君
14番 時任 伸一君	15番 八代 輝幸君
16番 津曲 牧子君	17番 柏木 忠典君
18番 山本 隆俊君	

欠席議員(なし)

欠 員(1名)

事務局出席職員職氏名

議会事務局長 壺岐 昌敏君	事務局補佐 鳥取 和弘君
議事調査係長 山下 美穂君	

説明のため出席した者の職氏名

町長 …………… 小澤 浩一君	副町長 …………… 川野 文明君
教育長 …………… 萱嶋 稔君	総務課長 …………… 間 省二君
政策推進課長 …………… 森 弘道君	建設管理課長 …………… 芥田 秀則君
農業委員会事務局長 …… 長町 信幸君	産業振興課長 …………… 田中 義基君

会計管理者兼会計課長	…	井上 敏郎君	町民生活課長	……………	三浦 敏君
健康福祉課長	……………	河野 辰己君	税務課長	……………	原田 博樹君
上下水道課長	……………	日野 祥二君	教育総務課長	……………	三嶋 俊宏君
社会教育課長	……………	中里 祐二君			

午後 1 時 00 分開議

○議長（山本 隆俊） 御苦労さんです。只今から本日の会議を開きます。

この際、議会運営委員会の報告を求めます。委員長、後藤隆夫議員。

○議会運営委員長（後藤 隆夫君） 議会運営委員会を開きましたので、御報告を申し上げます。本日 10 時 5 分より、正副議長室におきまして議会運営委員会を開催をいたしましたので、その結果について御報告を申し上げます。

今期定例会に付議されました案件は 35 件でございます。同意 3 件、諮問 3 件、補正予算 7 件、決算認定 1 件、規約の変更 1 件、不動産の取得 1 件につきましては、既に本会議におきまして審議を終え、残りの議案 19 件につきましても各常任委員会及び特別委員会にその審査を付託され、それぞれ審査中であります。

新たに議員提出議案 1 件が追加提出されます。その内容について事務局より説明を受け、慎重に審議を行いました結果、本日の日程とし、審議を行うことで出席委員全員意見の一致を見たところでございます。

議員各位の御協力をお願い申し上げまして、御報告といたします。

○議長（山本 隆俊） 本日の議事日程につきましては、只今報告がありましたとおり、1 件を追加提案し、お手元にお配りしましたとおり議事を進めます。

日程第 1. 発議第 1 号

○議長（山本 隆俊） 日程第 1、発議第 1 号環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉への参加に反対する意見書の提出についてを議題といたします。

趣旨の説明を求めます。14 番、時任伸一議員。

○14 番（時任 伸一君） 発議第 1 号、平成 25 年 3 月 11 日、高鍋町議会議長、山本隆俊様、提出者、高鍋町議会議員時任伸一、賛成者、緒方直樹、後藤隆夫、徳久信義、岩崎信や。

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉への参加に反対する意見書について、上記の議案を、別紙のとおり会議規則第 14 条の規定により提出します。

それでは、本文を読み上げます。

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉への参加に反対する意見書。2 月 22 日、安倍首相はオバマ米国大統領と首脳会談を行い、共同声明で「一方的に全ての関税を撤廃することを、あらかじめ約束することを求められるものではない」と明記された。これを受け、首相は「聖域なき関税撤廃が前提ではない認識に立った」と表明した。しかし、こ

のことは日米間において重要品目が存在することを認識したに過ぎず、これらに関税撤廃対象から除外することを※認識したわけではない。TPPは、関税とその他の「障壁」を例外なく撤廃しようというものである。

また、TPP参加国に、日本も含めた実質GDP（国内総生産）は米国と日本で9割を占めており、この交渉の主導権を握っている米国は、例えばBSE（牛海綿状脳症）対策で解禁をめぐる攻防のときと同様に日本に対して圧力をかけてくることは明白である。全国でも有数な食糧基地である児湯地域では、口蹄疫からの復興に向け、懸命に努力している最中であり、万一TPPに参加することになれば、海外から安い農林水産物が国内に大量に流入し、我が国の農林水産業に深刻な影響を与え壊滅的な打撃を受けることになり、地域そのものが崩壊することは必至である。

よって、国においては、TPP交渉は国民生活の根本にかかわる重大問題であり、特に我が国の農林水産業、農山漁村、また医療や保険制度等を守るため、TPP交渉に参加しないよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。平成25年3月11日、衆議院議長伊吹文明——敬称略——参議院議長平田健二、内閣総理大臣安倍晋三、内閣官房長官菅義偉、外務大臣岸田文雄、財務大臣麻生太郎、農林水産大臣林芳正、経済産業大臣茂木敏充。宮崎県児湯郡高鍋町議会。

以上であります。

済みません。認識したという……。

○議長（山本 隆俊） 時任議員。

○14番（時任 伸一君） 上から6行目のところです。しかし、このことは日米間において重要品目が存在することを認識したにすぎず、これらに関税撤廃対象から除外することを確認したわけではない。ここを認識したと発言したようです。訂正しておわび申し上げます。

以上であります。

○議長（山本 隆俊） 以上で説明は終わりました。

只今から質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 隆俊） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 隆俊） 次に、原案に賛成者の発言を許します。7番、中村末子議員。

○7番（中村 末子君） 発議第1号環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉への参加に反対する意見書について、賛成の立場で討論を行います。

この議会が始まる前に、安倍首相の間違った認識のもと、環太平洋戦略的経済連携協定

※後段に訂正あり

(TPP) 交渉へ参加するということが明らかになりました。そのときから、自民党はさきの衆議院議員選挙で、その半数以上がTPP交渉への参加反対を表明しております。これは明らかに政党として、国民の皆さんを裏切る行為にほかなりません。また、一緒に連携を組んでおります公明党の方々も、このTPP交渉への参加については自由な発言はなされておきませんが、反対の立場を各部署で説明をされておられます。安倍首相が、その任期中に、もう早速うそをつくということにほかなりません。TPPというのは、あくまでも関税を全て撤廃する、いわゆる聖域なき関税撤廃が前提であります。だからこそ、このTPP交渉に参加しない国々は、ほとんどがFTAなどの個別交渉によってのみ、自国の利益を守る立場で交渉をしてきております。

宮崎県は、ここにも書いてありますように食糧基地であると同時に、この児湯郡、宮崎県全体含めて、口蹄疫からの復興に畜産農家のみならず、各自治体、本当に苦労している状況の中です。政府はそのことの認識も深めていない、そういうことが明らかになりました。

本日は、あの東北大震災、大津波が起きて2年目です。私たちは、口蹄疫ということで多くの畜産業の皆さんの行く末が案じられました。そして東北沖では多くの人たちの命が失われました。私たちは、危機管理、そういうことをしていく状況の中で、このTPP交渉へ参加するということ自体、安倍首相はわかっていない、そのことを申し上げたいと思います。

皆さん、私はこのことをもって、衆議院議員選挙で公約を破った自民党に厳しい、こういう投げかけをしていく必要があると考え、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉への参加に反対する意見書に賛成でございます。

○議長(山本 隆俊) ほかに討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(山本 隆俊) これで討論を終わります。

これから発議第1号を起立によって採決します。原案のとおり決定することに賛成議員は御起立願います。

[賛成者起立]

○議長(山本 隆俊) 起立全員と認めます。したがって、発議第1号環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉への参加に反対する意見書の提出については、原案のとおり可決されました。

○議長(山本 隆俊) 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これで本日は散会します。

午後1時10分散会
